

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-38	小学校	音楽科	音楽	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音楽 501	小学音楽 音楽のおくりもの5		

## 1. 編修の基本方針

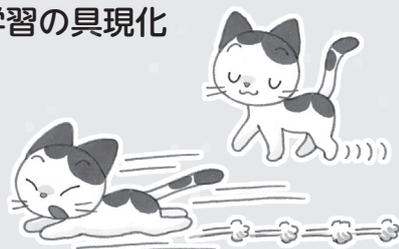
平成29年3月に改訂された新しい学習指導要領の目標及び内容に則り、また教育基本法及び学校教育法の内容や、さまざまな教育課題に対応すべく、以下の観点を基本方針として本教科書の編集にあたりました。

主体的・協働的に  
見通しをもって  
学習を深める  
力を育む



まなびナビ

音楽的な 見方・  
考え方を働かせる  
学習の具現化



生活や社会の  
中の音や  
音楽と豊かに  
関わる資質・  
能力の育成



- 本教科書は、主要部分と、選択可能なオプション部分等により構成されています。題材構成された主要部分では、紙面左上の「学習のめあて」と、学び方を示唆する「まなびナビ」を示し、児童が主体的に学習内容を捉え、思考・判断・表現しながら見通しをもって学習できるよう配慮しました。また、中学年以降では児童が主体的・協働的に学ぶためのヒントやプロセスを示した「学び合う音楽」のコーナーを設定しました。(p.22ほか)
- [共通事項] で示された「音楽を形づくっている要素」を、「音楽のもと」の名称を用い、学習や教材に関連させ紙面右上に示しました。さらに、中・高学年ではメモ欄を設け、児童が自ら聴き取ったり感じ取ったりした要素も必要に応じて書き込めるようにしました。
- リコーダーの運指や、音符や休符、記号などの「新出事項」は小口に明示しました。(p.7ほか)
- 児童が音楽のよさや楽しさを感じるとともに、思いや意図を持って表現したり味わって聴いたりする力を育成できるよう、題材構成や教材の配置、学習活動の設定を工夫しました。
- 児童が我が国や世界の多様な音楽を楽しむことにより、音楽と生活との関わりに関心を持ち、生涯にわたり音楽文化に親しむ態度を育むことを重視しました。

# ○主要部分の紙面構成

### 目次

5年

導入

導読シンフォニー  
(スバルグループ)  
花のあけりもの  
クラブ フレンズ  
⑧ こいのぼり

ゆきせ音楽名人  
星路

歌そう曲を楽しもう  
④ ピアノ五重奏曲「ます」  
第4楽章

日本の楽団をたずねて  
しのぶのありよく  
⑥ 長瀬「緑雉子」から  
⑦ 空の夜

この曲は誰が  
音楽をつくっているか、  
それ以外の学習に関連するものを  
音楽のよさとして探しています。  
(※) 本人が  
みなさんが気づいた音楽のよさを書きこんで、  
学習を進めていきましょう。

### 主要部分

① 知音や低音のはたらき 知音や低音のはたらきを感じ取って歌おうできるかな。 茶色の小ひん 12 知音のはたらきを感じ取ろう 14 こきょうの人々 16	② 声のひびき合い ひびき合いを楽しんで、せいり歌ったりできるかな。 いろいろな合唱 18 ハロー・シャイニング ブルー 20 知音に合わせて せんりつをつくろう 26	③ 知音や低音のはたらき 知音や低音のはたらきを感じ取って歌おうできるかな。 茶色の小ひん 12 知音のはたらきを感じ取ろう 14 こきょうの人々 16	④ 声とんぼ 音楽の旗 ⑤ 子もり歌 ⑥ 長瀬緑雉子 / ⑦ 音戸の舟歌 (日本の民謡をたずねて) こきり歌 / 谷茶前 ⑧ 世界の声の音楽 / ⑨ 世界の楽団のひびき	⑩ スキーの歌 48
--	---	--	---	------------

③ オークストラのみりよく  
いろいろな楽器の組み合わせや響きを楽しめるかな。  
④ 緑曲「カレリア」から 30

⑤ 豊かな表情を求めて  
パート分けや曲の持ちようをわけて歌おうできるかな。  
嵐とケーナのロマンス 42  
⑥ 冬げしき 44  
いろいろな声で音楽をつくろう 46

⑦ わたしたちの夜視  
思いや意図をもって、友達とアンサンブルできるかな。  
ルパン三世のテーマ 52  
音をさせて  
⑧ ずれの音楽を楽しもう 56  
クラッピング ミュージック

⑧ スキーの歌 48

⑨ ききどころを見つけて  
いろいろな持ちようを見つけて歌おうできるかな。  
⑩ つるぎのまじ 50

⑪ まなびナビ (学び方を知ろう)

⑫ WEBリンク

⑬ 学習の振り返り

⑭ 資料等へのリンク

## 少しずつ扱って技能の定着を図るコーナー

### 題材名

1 ○○○○○○

○○○○○○○○○○

学習のめあて

まなびナビ  
(学び方を知ろう)

WEBリンク

学習の振り返り

資料等へのリンク

### 音楽のもと

メモ欄 (中・高学年のみ)

新出事項 (2年以上)

学習の振り返り

資料等へのリンク

### 学び合う音楽

①どんな曲かな？

- 楽しみを見ながら演そうをきいてみよう。
- 歌しを声に出して読んだり、主なせりつこのところを歌ったりしてみよう。
- 各自が思いえがいた曲のイメージや、いいなと思ったところを話し合おう。
- 作者はどんなイメージで曲をつくったのか想像してみよう。⇒21ページ

②曲の持ちようをとらえよう。

- 楽ふに記された音ぶや休ふ、記号にどんな役わりや意図があるか、みんなて考えよう。

例・休ふの効果

ハロー シャイニングブルー

③パートに分かれて練習しよう。

- 自分の声に合うパートを選ぼう。
- 曲の各部分で、自分たちのパートの役わりを考えて、声の強さや音色をくふうしよう。

例

④みんなて合わせよう。

- 和音のひびきや音の重なり方の変化など、曲のしくみや持ちようをとらえながら歌い合わせよう。
- 自分たちの思いや意図を大切に、よりよい演奏うにしていくためのポイントを考えながら練習しよう。

〈ポイントの例〉曲に合った言葉の発音や歌の発声、強弱や音色の変化、フレーズの歌い出しや終わり方、息つぎのタイミングなど

## 繰り返し学習や資料の活用により，着実に基礎・基本が身に付く

- 発達段階に即した学習内容を系統的に配置するとともに，知識・技能の定着に配慮し，必要に応じて学年内あるいは複数学年にわたり継続的・発展的に学習できるようにしました。

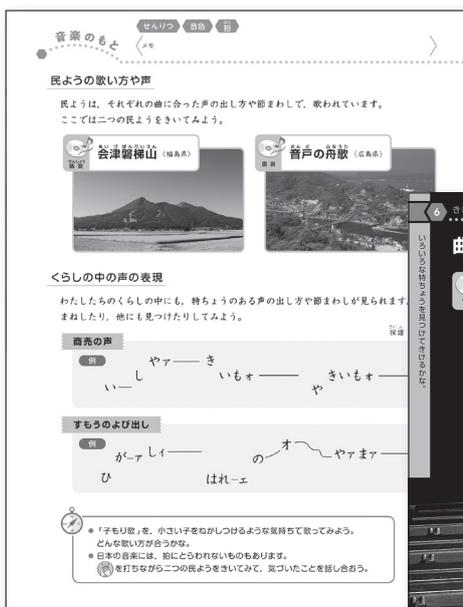


★学習の振り返りや，資料等へのリンクを示すアイコンを適宜設定しました。

★児童自ら確認できるように，学習の手助けになる資料を，各学年の巻末に豊富に設定しました。

## 現代の教育課題に対応

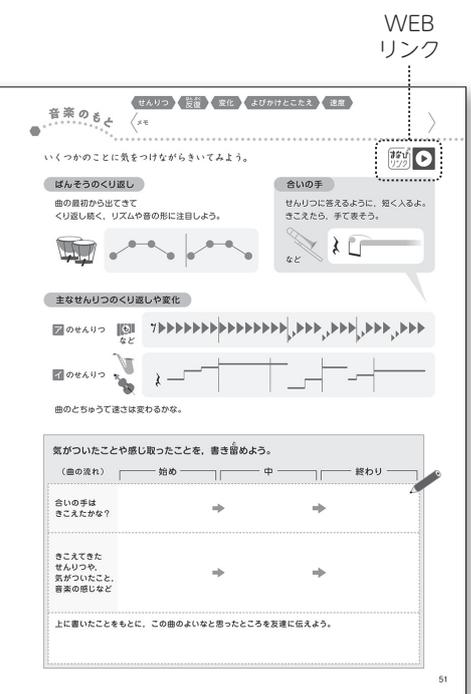
- 学習内容を更に広げる **もつとあそぼう** のコーナーを適宜設定し，学習の深まりに対応しました。(p.15ほか)
- 児童が聴き取ったことなどを言葉で表す〔言語活動〕を生かしたポートフォリオを設定しました。(p.51ほか)
- 伝統文化を尊重し，郷土の音楽，唱歌等の扱いを重視しました。(p.36ほか)
- 暮らしの中の声の表現をとりあげ，社会における音や音楽について扱いました。(p.35)
- WEBリンクのマークを設定し，学習に広がりを持たせる資料等を用意しました。(p.51)



▲ p.35



▲ p.50-51



## 2. 対照表

以下に図書の内容・構成と、教育基本法第二条の第1号から第5号との対応を示します。

- 〈第1号〉幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健康的な身体を養うこと。
- 〈第2号〉個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。
- 〈第3号〉正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。
- 〈第4号〉生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- 〈第5号〉伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

(例)

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教材選定における配慮</li> <li>• 教材の配列と扱いにおける配慮</li> <li>• 学習活動の提示における配慮</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 幅広い知識と教養、豊かな情操を培うよう、我が国及び諸外国の音楽から、さまざまな時代や曲種のものにふれ、音楽のもつ多様なよさや面白さを感じ取ることができるような教材を選定した。(第1号)</li> <li>• 自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うような教材を選定した。(第4号)</li> <li>• 児童一人一人がその能力を伸ばし創造性を培うような、教材の配列と扱いに配慮した。(第2号)</li> <li>• 正義と責任、自他の敬愛と協力に対応するため、心を通わせながら学習活動やアンサンブル活動をすすめる設定や示唆を設けた。(第3号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全学年全体</li> <li>• p.20～23</li> <li>• 全学年全体</li> <li>• p.7ほか</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 表現者からのメッセージ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 真理を求める態度を養うよう、一線で活躍する表現者からのメッセージを掲載した。(第1号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 巻頭</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 郷土の音楽の扱い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 我が国の自然や人々の暮らしとの関わりの示唆や、地域社会の大切さを感じ取り、主体的に関わる気持ちを育成するよう配慮した。(第3号)</li> <li>• 伝統と文化の尊重や郷土を愛する心を育むよう配慮した。(第5号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• p.34～39ほか</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 共通教材等の唱歌の扱い (「にっぽんのうた みんなのうた」コーナー)</li> <li>• 諸外国に伝わる音楽の扱いや、「日本の楽器をたずねて」の特設等の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 我が国の自然を表現した教材を扱う際、環境の保全を視野に、美しい写真や資料等を配し、大切にすることを育むよう配慮した。(第4号)</li> <li>• 共通教材をはじめ歌い継いでいきたい我が国の歌の扱いでは、我が国の自然や四季、暮らしとのかかわりを重視した。(第5号)</li> <li>• 伝統と文化の尊重、他国を尊重する態度を育むよう配慮した。(第5号)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• p.8ほか</li> <li>• p.8ほか</li> <li>• p.40, p.60</li> </ul>

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### ○紙面デザインの工夫 児童が主体的に学習に取り組める

- ・中学年以降はA4変型判とし、発達段階に合わせて使いやすさと内容の充実を図りました。
- ・楽譜は大きく見やすく、写真やイラストなどもワイドに効果的に配置しました。(p.8ほか)
- ・透明シートや折込ページを設定し、想像豊かに学習を展開できるよう工夫しました。(p.30ほか)

#### ○教材の配列・選択の視点 資質・能力を育み、主体的・協働的で深い学びを促す

- ・題材や見開きごとのねらいに即した表現・鑑賞教材を、様々な時代や曲種から厳選して配置しました。
- ・歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞いずれにおいても、児童が音や音楽を、形づくっている要素の動きの視点で捉え、自己のイメージや感情と関連づけながら学習を進められるような教材を選択しました。また、主体的・協働的に学習に取り組めるような扱いや示唆に配慮しました。
- ・鑑賞の学習では、音楽の見方・考え方を働かせ、曲の特徴を捉えやすくするような活動を設定しました。(p.51ほか)
- ・音楽づくりの学習では、即興的に表現することを通して児童が音楽づくりの様々な発想を得ることや、「即興的な表現」と「音を音楽へ構成すること」とのつながりを重視しました。また、いろいろな音楽がどのようにできているのかを知るきっかけとなるように、鑑賞との関連に留意して設定しました。(p.56ほか)

#### ○学習内容の設定 低・中・高の2学年ずつのまとまりや、児童の発達段階に配慮した構成

**低学年**…就学前の学習との関連に配慮するとともに、児童が楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しんだり、表現に対する思いを持ったり、曲や演奏の楽しさを見出したりすることを重視しました。

**中学年**…アンサンブル教材などグループで取り組む活動を豊富に設定し、児童が進んで音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを感じながら、様々な音楽に親しんだり、表現に対する思いや意図を持ったり、曲や演奏のよさを見いだしたりすることを重視しました。

**高学年**…音楽を内面から心情的に捉えるような活動を設定するとともに、児童が主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動する楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しんだり、表現に対する思いや意図を持ったり、曲や演奏のよさを見いだしたりすることを重視しました。また、中学校の学習との関連性を重視しました。

#### その他の特色

##### ①ユニバーサルデザイン (UD) による多様性への配慮

- ・カラーユニバーサルデザイン (CUD) や特別支援教育への対応  
色覚等の特性をふまえた、判読しやすい配色やレイアウト、表現方法、文字 (ユニバーサルデザインフォント) などの工夫により、すべての児童にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。
- ・「パラリンアート」の取り組み  
さまざまな人々との共生について理解を深める観点から、障がいのある人が描いた作品 (障がい者アート) を教科書に掲載することにより支援する、「パラリンアート」の活動にも取り組んでいます。

##### ②地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-38	小学校	音楽科	音楽	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音楽 501	小学音楽 音楽のおくりもの5		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### I 全体構成 主要部分を中心として、地域・学校の実態に応じた弾力的な扱いが可能です

本教科書は、主要部分と、選択可能なオプション部分等により構成されています。

#### ① 主要部分…資質・能力を育む題材構成

新しい学習指導要領の目標及び内容に則り、様々な教育課題への対応を考慮して、導入部分に続き三つの題材群を設け、各題材を設定しました（II 主要部分の題材構成一覧参照）。

#### ○主要部分の構成

〈導入〉	音楽の見方・考え方を 働かせながら 資質・能力を育む題材	生活や社会と 音楽との関わりを 扱う題材	主体的・協働的に 表現を楽しむ題材 (まとめ)
<p>声を合わせて歌うなどして、音楽活動の基本となる意欲や態度を養う教材や、きく力をつけるスキルアップ教材など。</p> <p>(1年はスタート・カリキュラムを視野に、就学前の学習と関連した教材群として構成した。)</p>	<p>音楽を形づくっている要素の様々な働きや効果、曲想と音楽の構造との関わりを感じ取りながら、思いや意図を生かした表現活動や、曲の魅力を捉えて聴く鑑賞活動を通して、表現や鑑賞の基礎的な能力を身に付けたり、学習を深めたりする。</p>	<p>我が国や諸外国の人々の暮らしの中で生まれたいろいろな種類の音楽にふれ、音や音楽表現のもつ多様な魅力を感じ取るとともに、生活や社会の中での音楽の役割について考える。</p> <p>(2年以降に設定。 1年では導入部分の内容が関連付けられている。)</p>	<p>今まで学んだことを生かし、聴き合いながらアンサンブルすることを通して、主体的・協働的な音楽表現を目指す。</p>

②題材構成部分を補完するコーナーを設定しました。

## 歌唱やリズム遊び

〈音楽活動の楽しさを体験しながら、アンサンブルのための基礎的な技能を身に付ける〉

### スキルアップ

- 歌声とリズムのトレーニング -  
(2～6年)

〈季節に合わせて取り扱う〉

にっぽんのうた みんなのうた  
(全学年)

## 器楽

〈毎時少しずつ取り組むなどして、音楽表現のために必要な技能の定着を図る〉

こんにちは けんぱんハーモニカ  
(1年)

こんにちはリコーダー  
(3年)

めざせ楽器名人  
(全学年)

## 音楽づくり

〈主に長期休暇前のまとめの学習として、主体的・協働的に取り組むことができる〉

音のスケッチ  
(全学年)



▲ p.46-47



▲ p.48-49

③オプション(選択)部分…各地域や学校、児童の実態に応じて選択的に用いる教材や活動を設定しました。

- 日本の楽器をたずねて (4・5年) …和楽器に関し、5年ではしの笛を扱いました。
- 鑑賞等の特設教材 (2～6年) …高学年では変奏曲やジャズとクラシックの関連した音楽など、題材に捉われずに音楽を楽しんだり学びを深めたりできる教材を扱いました。  
変奏曲を楽しもう (5年) / ジャズとクラシック音楽の出会い (6年)
- 音楽ランド (全学年) …弾力的な運用が可能な曲集部分です。

🕒 Short Time Learning (全学年) …

各学年〈音楽ランド〉の巻頭で、我が国でも親しまれている外国語の歌を扱いました。モジュール時間等を利用して楽しみながら外国語に親しむ学習ができます。

音楽ランド  
Short Time Learning  
Auld Lang Syne  
(ほたるの光)  
作曲: スコットランド民謡  
編曲: 佐藤麻耶

Should auld acquaint-ance be for-got, And nev-er brought to mind? Should  
1 ほたるのひかーりまどのゆきふか  
2 とまるもゆくーもかざりとーてきか

auld acquaint-ance be for-got, For days of auld lang syne? For  
みよむつきーひかさねつーのい  
たみにおもーうちよろずーのこ

auld lang syne, my dear, For auld lang syne, We'll  
つしかとしーもすぎーのをを  
ころのはしーをひとーことにき

tak' a cup o' kind-ness now, For auld lang syne.  
けてぞけさーはわかれゆーく  
きくとばかーりうとうなーり

原語で歌おう。ふりがなはめやすです。  
(歌詞の内容)  
1番 ほたるの光や、月て明るく光る雪をたよりに  
学期にそしむ日々を積み重ねてきました。  
いつのまにか年月が過ぎ、夜が明けて今日わたしたちは  
(形の) 戸をあけてお別れしていきます。  
2番 ここにとどまる者も出発する者もいます。今日かざりてお別れです。  
おたがいつの思いがたくさんあるけれど、  
その心の一端をただ一言「お幸せに」とだけ歌います。

▲ p.62

④豊富な資料や読み物等

〈巻末〉

- 「音楽のもと」まとめ (全学年)
- 音楽を表すいろいろな言葉 (2～6年)
- 音ぶや休ふ, 記号など (2～6年)
- リコーダーの指づかい (3～6年)
- アンサンブルのステージ (5年)
- 雅楽の演奏 (6年)

〈本文内〉

- ようこそ! オーケストラのコンサートへ (5年)
- 日本の民ようをたずねて (5年)
- 音楽にできること (6年)

「音楽のもと」まとめ

音楽のたてと横との関係  
(音の重なり方と音楽の進み方)  
縦軸: 反復・変化  
横軸: よびかけとこたえ

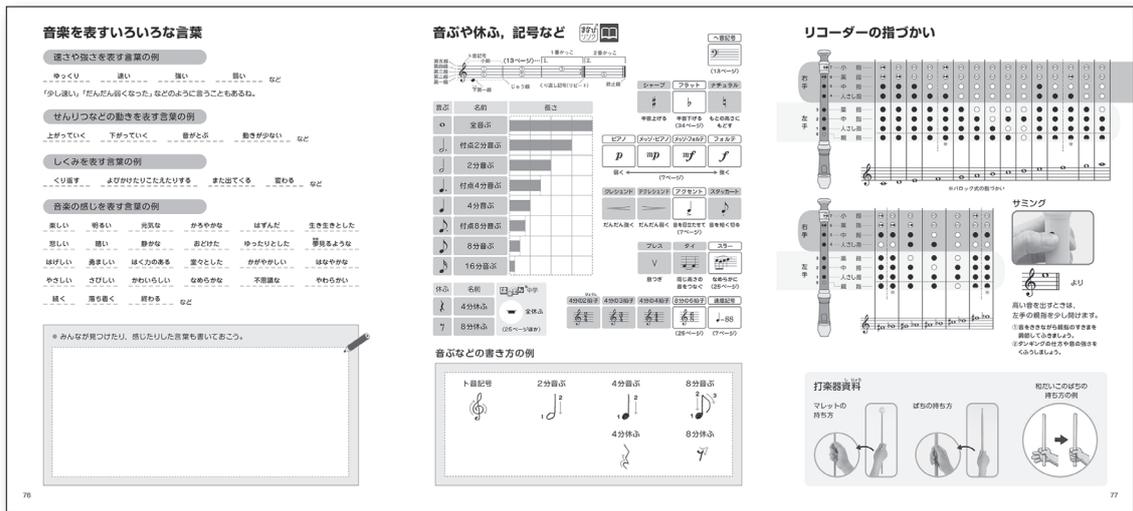
リズム (拍)  
メロディ (音)  
ハーモニー (音)  
テンポ (速)  
リズム (拍)  
メロディ (音)  
ハーモニー (音)  
テンポ (速)

目安となるように、いくつかの「音楽のもと」について、表の上でどのように表れているか報告しました。決してこの表に限定されず、例えばどのパートの音の動きにも「リズム」があり、二つ以上の音が同時に鳴れば「音の重なり」となります。  
「音楽のもと」は料理という材料のようなもので、それらがさまざまに調理(作曲や演奏など)されて、てきあがった料理(音楽)のおいしさ(持ちよう)となっているのです。

「ルパン三世のテーマ」52ページ

74

▲ p.74



▲ p.76-77 (音楽を表すいろいろな言葉 ほか)

### ⑤発展的な学習についての取り扱い

各学年の学習指導要領に示されていない内容に関しては **はなみ** と明示し、児童の習熟度や興味・関心に応じて学習することができるよう配慮して、**4年以降の適所に設定しました。**(p.25ほか)

## II 主要部分の題材構成一覧

	1年	2年	3年
音楽の見方・考え方を働かせながら 資質・能力を育む題材	リズムとなかよし どれみとなかよし いいおとみつけて もりあがりをかんじて  うたでまねっこ きよくのながれ	リズムやドレミとなかよし  いい音見つけて 強さやはやさをかんじて きよくに合った歌い方 くりかえしとかさなり きよくのながれ	楽ふとドレミ  歌声ひびかせて  曲に合った歌い方 アンサンブルの楽しさ せんりつの流れとへん化 ききどころを見つけて
生活や社会と音楽との 関わりを扱う題材	(導入部分の内容が、関連付 けられている)	おまつりの音楽	遊び歌めぐり
主体的・協働的に表現 を楽しむ題材(まとめ)	みんなであわせて	みんなで合わせて	みんなで合わせて
	4年	5年	6年
音楽の見方・考え方を働かせながら 資質・能力を育む題材	ひょうしとせんりつ 歌声ひびかせて 曲に合った歌い方 アンサンブルの楽しさ かけ合いと重なり ききどころを見つけて	和音や低音のはたらき  豊かな表現を求めて オーケストラのみりよく 声のひびき合い ききどころを見つけて	短調のひびき  豊かな表現を求めて 演奏のみりよく ひびき合いを生かして ききどころを見つけて
生活や社会と音楽との 関わりを扱う題材	音楽今昔	音楽の旅	私たちの国の音楽
主体的・協働的に表現 を楽しむ題材(まとめ)	わたしたちの表げん	わたしたちの表現	音楽に思いをこめて

## 2. 対照表

教材 (◎…鑑賞教材)

	A表現									B鑑賞		[共通事項]					
	(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 音楽づくり						(1)				
	ア	イ	ウ	ア	イ	ウ	ア		イ		ウ		ア	イ	ア	イ	
							(ア)	(イ)	(ア)	(イ)	(ア)	(イ)					
	知識や技能を得て生かす・曲の特徴にふさわしい表現を工夫・どのように歌うか 思いや意図をもつ	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり	思いや意図に合った表現をするために必要な技能	知識や技能を得て生かす・曲の特徴にふさわしい表現を工夫・どのように演奏するか 思いや意図をもつ	曲想と音楽の構造との関わり・多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり	思いや意図に合った表現をするために必要な技能	即興的に表現することを通して音楽づくりの様々な発想を得る	音を音楽に構成・全体のまとまりを意識した音楽について思いや意図をもつ	いろいろな音の響きやそれらの組み合わせの特徴と、それらが生み出すよさや面白さなどとの関わり	音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴と、それらが生み出すよさや面白さなどとの関わり	技能 選択したり組み合わせたりにして表現する	設定した条件に基づいて、即興的に音を表現する	音楽の仕組みを用いて、音楽をつくる	知識を得て生かす・曲や演奏のよさ・曲全体を味わって聴く	曲想及びその変化と音楽の構造との関わり	音楽を形づくっている要素と聴き取ったことや感じ取ったこととの関わりについて考える	音楽を形づくっている要素や音符・休符・記号等について、働きと関わりをさせて理解
夢色シンフォニー	○	○	○													○	
花のおくりもの	○	○	○													○	○
クラップ フレンズ				○	○	○										○	○
こいのぼり (共)	○	○	○													○	
茶色の小びん	○	○		○	○	○										○	○
こきょうの人々	○	○	○	○	○	○										○	○
◎いろいろな合唱	○													○	○	○	○
ハロー・シャイニングブルー	○	○	○													○	○
星笛				○	○	○										○	
和音に合わせてせんりつをつくらう								○		○			○			○	○
◎組曲「カレリア」から														○	○	○	○
赤とんぼ	○	○	○													○	
子もり歌 (共)	○	○	○													○	
◎会津磐梯山, ◎音戸の舟歌														○	○	○	○
こきりこ節	○	○	○	○	○	○										○	○
谷茶前	○	○			○					○						○	
◎世界の声の音楽/ ◎世界の楽器のひびき														○	○	○	
風とケーナのロマンス	○	○	○	○	○	○										○	○
冬げしき (共)	○	○	○													○	○
いろいろな声で音楽をつくらう								○		○			○			○	○
スキーの歌 (共)	○	○	○													○	
◎つるぎのまい														○	○	○	○
ルパン三世のテーマ				○	○	○										○	
君をのせて	○	○	○													○	
ずれの音楽を楽しもう/ ◎クラッピング ミュージック									○		○		○	○	○	○	○
◎ピアノ五重奏曲「ます」														○	○	○	
しの笛のみりよく				○	○	○								○	○	○	
Auld Lang Syne	○	○	○													○	
ゆき	○	○	○													○	
大切なもの	○	○	○													○	
こげよマイケル	○	○	○													○	
ゴジラ				○	○	○										○	
グッバイ また明日ね	○	○	○													○	
音楽のおくりもの	○	○	○	○	○	○										○	
さんぽ	○	○	○	○	○	○										○	
君が代	○	○	○													○	
ベチカ	○	○	○													○	
待ちぼうけ	○	○	○													○	
星とたんぽぽ	○	○	○													○	
ちいさい秋みつけた	○	○	○													○	

# 編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
30-38	小学校	音楽科	音楽	第5学年
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	音楽 501	小学音楽 音楽のおくりもの5		

ページ	記 述	類型	関連する学習指導要領の内容や 内容の取扱いに示す事項	ページ数
25	全休ふ	2	共通事項 (1) イ	0.25
合 計				0.25

(「類型」欄の分類について)

- 1 ……学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2 ……学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容